

令和7年度

事業報告書



社会福祉法人富士市社会福祉協議会

目次

1. 概要	1
2. 会議開催状況	3
3. 事業実施状況	8
【広報啓発事業】	8
【地域福祉推進事業】	10
【生活支援体制整備事業】	13
【ボランティア活動育成事業】	15
【福祉相談事業】	19
【援護事業】	20
【共同募金運動】	22
【ユニバーサル就労支援センター相談支援グループ運営事業】	23
【貸付事業】	24
【日常生活自立支援事業】	25
【成年後見支援センター事業】	25
【法人後見事業】	27
【介護サービス事業】	27
【障害サービス事業】	28
【社会福祉センターの運営】	30
【生きがいデイ・健康づくりデイサービス事業】	31
【その他の事業】	32
【社協会費・寄附金の募集】	33

1. 概要

令和7年度は、6月25日の定時評議員会終結の時をもって役員及び評議員の任期が満了となり、新たな執行体制でスタートしました。

建設を進めていた鷹身工芸社の移転新築工事は5月23日に無事に完了し、6月2日に関係者を招いて移転開所式を執り行い、新たな環境で運営を開始しました。

また、9月に静岡県各地を襲った台風15号では、牧之原市・吉田町に竜巻が発生し、甚大な被害をもたらしました。本会ではそれぞれの災害ボランティアセンターに職員を派遣し、被災地の復興支援にあたりました。

以下、令和7年度事業計画における重点目標を中心に事業執行状況を報告いたします。

<令和7年度の重点目標>

1. 地域共生社会実現のための生活支援体制整備事業の推進とコミュニティソーシャルワークの実践
2. 第6次地域福祉活動計画の策定着手
3. 各事業の財政再建のための取組強化
4. 職員の確保と定着のための採用・育成力の強化

1. 地域共生社会実現のための生活支援体制整備事業の推進とコミュニティソーシャルワークの実践

生活支援体制整備事業については、各地区に配置されている第2層生活支援コーディネーターとコミュニティソーシャルワーカーが連携をとり、それぞれの地区において、まちづくり推進組織との連携も視野に入れつつ、話し合いの場づくりや具体的な実践に関する支援を進めました。コミュニティソーシャルワークの実践については、寄せられた相談や困りごとの解決に向けて関係機関との連携を図りながら相談者や相談内容の属性を問わず対応しました。また、必要に応じ地域の関係団体の事業や活動につなげるなど、地域支援活動とも連動して取り組みました。

2. 第6次地域福祉活動計画の策定着手

第6次地域福祉活動計画は、令和9年度から13年度までを計画期間としていることから、令和8年度の本格的な策定に向け、現行の第5次地域福祉活動計画の検証作業に係る情報整理や行政との調整を行いました。

また、地区版の地域福祉活動計画については、まちづくりと地域福祉の双方の視点を反映しつつ市民負担の軽減を図るため、第3次富士市まちづくり行動計画との一体的な策定手法とし、各地区福祉推進会とともに本会職員が各地区のまちづくり行動計画ワークショップに参画することで、令和8年度の計画策定に向けた基盤整備を図りました。

3. 各事業の財政再建のための取組強化

物価高騰や人件費の上昇、現役世代人口の減少等により、本会の財政環境は一層厳しさを増す中、持続可能で自立した福祉サービスの提供に向け、各事業の財政構造について職員や関係機関への見える化を図りました。

また、障害サービス事業においては、持続的かつ安定的な経営を目的とした事業所統合の方針として「障害支援事業所再編方針」を策定し、令和10年度の新体制移行を見据え、利用者及びその家族、関係機関等への説明会を実施しました。

さらに、社会福祉センターの指定管理料に関しては、人件費増や物価高騰に対応した新たな補助金の確保につなげました。加えて、次年度予算に向けた行政との折衝においては、補助事業、受託事業及び社会福祉センターについて適正な予算確保に向けた調整を行い、一定の成果を得ることができました。しかしながら、これらの増額は人件費の増加等に十分に対応できる水準には至っておらず、本会の財政運営は依然として厳しい状況にあります。財政再建に向けては、引き続き一層の取組を進めていく必要があります。

4. 職員の確保と定着のための採用・育成力の強化

職員の確保については、採用手法の見直しとして、本会ウェブサイトを採用専用サイトとして独立・再構築し、情報発信の強化を図りました。その結果、福祉総合職正規職員（若年者）の応募数について、前回の令和6年度採用の4名から令和8年度採用では9名へと増加させることができました。

また、職員の定着及び育成に関しては、基本理念を踏まえ、6つの職員行動指針をバランスよく実践できる人材を目指す第2期職員育成計画に基づき、取組を進めました。具体的には、OJT（職場内訓練）リーダーに対する研修を引き続き実施するとともに、社会福祉士等合格者に対する登録料等への助成を新たに実施。さらに、障害サービス室においては、所長を対象に、職員行動指針をより現場職員に理解しやすい形へと具体化・整理するためのワークショップを実施しました。

その他、重点目標以外については、「身寄りのない高齢者施策」として法律・福祉等専門職及び行政・社協による「権利擁護ワーキンググループ」を立ち上げ、年7回の協議及び先駆的取組をしている豊島区・名古屋市・横須賀市の視察を行い、終活や死後事務を担う事業の調査研究を行い終活サポートセンターの開設準備を進めました。

また、内閣府が主催する「避難生活支援リーダー・サポーター研修」を共催し、災害時の避難生活の環境向上に貢献できる地域の人材育成に取り組みました。

さらに、昭和47年から実施してきた訪問介護事業につきましては、近年の介護人材不足が影響し、事業を継続するための人材確保が困難となり、令和8年3月31日をもって事業を廃止しました。

以上、令和7年度は物価高騰や人材不足等の影響を受け、厳しい状況下ではありましたが、計画した事業については概ね順調な事業執行となりました。

2. 会議開催状況

1. 理事会

	場 所	会 議 事 項
第1回 R7. 6. 10	フイナンテ東館 ボランテリアルーム	<p>議第1号 令和6年度事業報告について</p> <p>議第2号 令和6年度決算について (監事監査報告について)</p> <p>議第3号 令和7年度補正予算について(第1号)</p> <p>議第4号 社会福祉法人富士市社会福祉協議会定款変更の承認について</p> <p>議第5号 役員選任候補者の推薦について</p> <p>議第6号 評議員選任候補者の推薦について</p> <p>議第7号 評議員選任委員の選任について</p> <p>議第8号 評議員選任委員会の招集について</p> <p>議第9号 定時評議員会の招集について</p> <p>○第2回理事会の招集手続きについて</p> <p>○社会福祉協議会会費依頼について</p>
第2回 R7. 6. 25	フイナンテ西館 団体研修室	<p>議第10号 会長、副会長及び常務理事の選定について</p>
第3回 R7. 8. 26	フイナンテ西館 団体研修室	<p>報第1号 会長及び常務理事職務執行状況報告</p> <p>議第11号 社会福祉法人富士市社会福祉協議会職員の育児・介護休業等に関する規則の一部改正について</p> <p>議第12号 令和7年度富士市社会福祉協議会会長表彰及び感謝状贈呈候補者について</p> <p>議第13号 基本財産の処分について</p> <p>議第14号 評議員会への提案について</p>
第4回 R7. 11. 26	フイナンテ西館 団体研修室	<p>報第2号 評議員会の審議事項に係る書面議決の結果について</p> <p>議第15号 令和7年度補正予算について(第2号)</p> <p>議第16号 評議員会の招集について</p> <p>○令和7年度歳末たすけあい運動について</p> <p>○令和8年度採用 正規職員の募集結果について</p> <p>○社会福祉協議会会費収納状況について</p>

<p>第5回 R8. 1. 30</p>	<p>フイレンセ東館 ボランティアルーム</p>	<p>○赤い羽根共同募金収納状況について（中間報告） ○令和8年度からの終活支援事業（仮）について</p> <p>報第3号 専決処分の承認を求めることについて （社会福祉法人富士市社会福祉協議会給与規程等の一部を改正する規程の制定）</p> <p>報第4号 会長及び常務理事職務執行状況報告</p> <p>議第17号 小口資金貸付事業貸付金の欠損処分について</p> <p>議第18号 評議員選任候補者の推薦について</p> <p>議第19号 評議員選任委員会の招集について</p> <p>○訪問介護事業の廃止について ○障害支援事業所の再編方針について ○歳末たすけあい運動募金収納状況及び配分結果について</p>
<p>第6回 R8. 3. 17</p>	<p>フイレンセ東館 ボランティアルーム</p>	<p>報第5号 本会に対する所轄庁からの指導監査（一般監査）の実施結果報告について</p> <p>議第20号 令和7年度補正予算について（第3号）</p> <p>議第21号 訪問介護事業等の廃止にかかる承認を求めることについて</p> <p>議第22号 社会福祉法人富士市社会福祉協議会定款変更の承認について</p> <p>議第23号 社会福祉法人富士市社会福祉協議会組織規程の一部改正について</p> <p>議第24号 社会福祉法人富士市社会福祉協議会経理規程の一部改正について</p> <p>議第25号 社会福祉法人富士市社会福祉協議会職員給与規程の一部改正について</p> <p>議第26号 社会福祉法人富士市社会福祉協議会介護サービス室及び障害サービス室職員給与規程の一部改正について</p> <p>議第27号 社会福祉法人富士市社会福祉協議会役員報酬及び旅費等支給規程の一部改正について</p> <p>議第28号 社会福祉法人富士市社会福祉協議会事務局職員的身分証明書に関する規程の一部改正について</p> <p>議第29号 社会福祉法人富士市社会福祉協議会交通遺児等育英奨学規程の一部改正について</p>

<p>第7回 R8. 3. 30</p>	<p>フィナンセ東館 ボランティアルーム</p>	<p>議第30号 令和8年度事業計画について 議第31号 令和8年度予算について 議第32号 令和8年度役員等賠償責任保険契約の締結について 議第33号 役員選任候補者の推薦について 議第34号 事務局長の選任について 議第35号 評議員会の招集について ○次回理事会の招集について 議第36号 副会長及び常務理事の選定について</p>
--------------------------	------------------------------	---

2. 評議員会

	場 所	会 議 事 項
<p>定時 (第1回) R7. 6. 25</p>	<p>サテライト 第2会議室</p>	<p>議第1号 令和6年度事業報告について 議第2号 令和6年度決算について (監事監査報告) 議第3号 令和7年度補正予算について (第1号) 議第4号 社会福祉法人富士市社会福祉協議会定款変更について 議第5号 役員の選任について ○社会福祉協議会会費依頼について ○実践報告：被災者支援ネットワークについて</p>
<p>第2回 R7. 9. 24 決議</p>	<p>(書面審議)</p>	<p>議第6号 基本財産の処分について</p>
<p>第3回 R7. 12. 10</p>	<p>フィナンセ東館 ボランティアルーム</p>	<p>報第1号 評議員会の審議事項に係る書面議決の結果について 議第7号 令和7年度補正予算について (第2号) ○令和8年度採用正規職員の採用試験結果について ○社会福祉協議会会費収納状況について ○赤い羽根共同募金収納状況について (中間報告) ○令和7年度歳末たすけあい運動について</p>

第4回 R8. 3.26	ファイナンセ東館 ボランティアルーム	○令和8年度からの終活支援事業（仮称）について 議第8号 社会福祉法人富士市社会福祉協議会定款変更について 議第9号 社会福祉法人富士市社会福祉協議会役員報酬及び旅費等支給規程の一部改正について 議第10号 令和7年度補正予算について（第3号） 議第11号 令和8年度事業計画について 議第12号 令和8年度予算について 議第13号 役員を選任について
-----------------	-----------------------	--

3. 評議員選任委員会

	場 所	会 議 事 項
R7. 6.18	ファイナンセ東館 社協相談室	議第1号 評議員の選任について
R8. 2.17	ファイナンセ東館 社協相談室	議第2号 評議員の選任について

4. 監 査

	場 所	会 議 事 項
R7. 5.27	ファイナンセ東館 社協相談室	○令和6年度決算事業会計監査

5. 共同募金委員会

	場 所	会 議 事 項
R7. 8.26	ファイナンセ西館 団体研修室	○令和7年度赤い羽根募金実施計画について ○令和7年度歳末たすけあい運動実施計画について ○街頭募金について

6. 正副会長会

	場 所	会 議 事 項
第1回 R7. 6. 5	フイナンセ東館 社協相談室	○第1回理事会について ○6月以降の会議等日程について
第2回 R7. 6. 25	フイナンセ東館 社協会長室	○8月の会議等日程について
第3回 R7. 8. 22	フイナンセ東館 社協相談室	○第3回理事会及び共同募金委員会について ○8月以降の会議等日程について
第4回 R7. 11. 19	フイナンセ東館 社協相談室	○第4回理事会について ○11月以降の会議等日程について
第5回 R8. 1. 26	フイナンセ東館 社協相談室	○第5回理事会について ○1月以降の会議等日程について
第6回 R8. 3. 13	フイナンセ東館 社協相談室	○第6回理事会について ○3月以降の会議等日程について

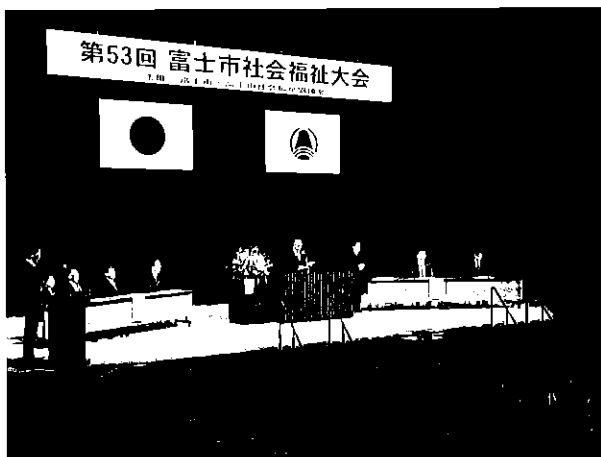
3. 事業実施状況

【広報啓発事業】

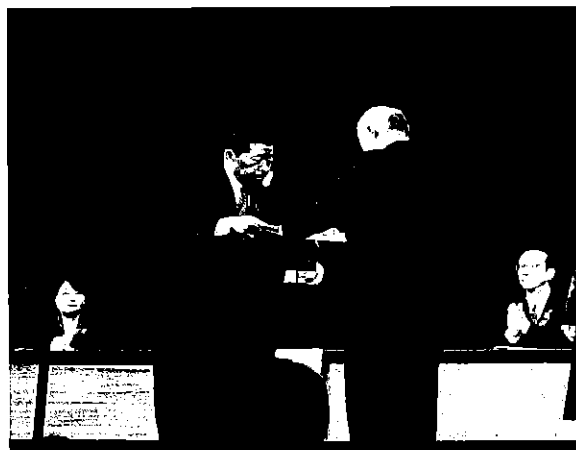
(1) 富士市社会福祉大会

社会福祉功労者に対し、表彰状及び感謝状の授与式をロゼシアターで開催した。

- ・開催日 11月14日(金)
- ・開催場所 ロゼシアター 中ホール
- ・内容 表彰式 被表彰者等 58人
活動発表 「富士市における消費者啓発について
～気づく・断る・相談する～」



式典



表彰式

(2) 社協の広報活動

市民に広く社協への理解をいただくため、また、事業等で社協を活用していただくため、全戸に広報紙「お元気ですか」を配布するとともに、ウェブサイトの充実を図った。さらに市内のコミュニティFM（ラジオエフ）の放送に社協役職員やボランティアが出演するほか、社協への寄附や事業実施時等に報道メディアへの情報提供を積極的に実施するなど、様々な広報啓発活動を行った。

① 広報紙『お元気ですか』の発行

会員である市民に対し、読みやすく分かりやすい福祉情報を発信するとともに、社協への理解を高めるために年3回発行した。併せて間違いさがしのコーナーへの応募時に福祉に関するアンケートに答えていただき、市民の福祉に関する実情や動向の把握に努めた。

- ・6/1号 特集：福祉人材育成でつながる「きっと大丈夫」な未来 他
※読者アンケート「今回の号から『お元気ですか』の紙面が変わりました。ご感想をお聞かせください。」回答数438通
- ・10/1号 特集：つながり、支え合う地域を目指して 他
※読者アンケート「地区福祉推進会について知っていましたか？」
回答数545通

- ・新年号 特集：富士市社協の障害者支援事業所をご紹介！ 他
- ※読者アンケート「富士市社協が障がい者就労支援事業所を運営していることを知っていましたか？」回答数666通

広告協賛企業（敬称略）

アイアール社会保険労務士法人	3回
生活介護事業所 ふる郷工房 柚木	1回

②ウェブサイトの充実

ICT（情報通信技術）時代に応じた見やすいサイトを追求するとともに、わかりやすい福祉情報の発信に努めた。また、速報性の高い情報に関しては随時更新を行った。加えて、職員募集に特化した採用サイトを7月に新設し、社協で働くことを検討する人に向けて、業務内容や組織の特徴を的確に伝える情報発信を強化した。

社協ウェブサイト：閲覧されたページ総数 年間 87,866 ページビュー
 ユーザーがサイトで操作した総数 年間 58,093 セッション
 サイトを訪問したユーザー総数 年間 48,885 ユーザー

社協採用サイト：閲覧されたページ総数 年間 8,227 ページビュー
 ユーザーがサイトで操作した総数 年間 5,183 セッション
 サイトを訪問したユーザー総数 年間 3,749 ユーザー

③ラジオエフの活用

月1回（最終水曜日）放送の「はあとふるトーク」に役職員、地域住民、ボランティア等が年間12回出演し、社協事業のPRに努めた。また、災害時の連携を視野に入れた防災パートナーズポットCMを毎月1回実施。その他、随時社協事業の広報媒体として協力を求め活用をした。

④報道メディアへの情報提供を通じた事業等の周知

報道メディアに社協や地区福祉推進会等の事業及び社協への寄附等の情報を積極的に提供し、紙面や報道を通じて事業等の周知を行った。

(3) 富士市障がい者支援ポータルサイト『はっぴいずむ富士』の運営（市受託事業）

ノーマライゼーションの理念に基づき、すべての人が交流やふれあいを通じて「福祉の理解」を深めることを目的とした「市民福祉まつり」の理念を踏襲し福祉情報をSNSで「つなげる」新たなポータルサイト『はっぴいずむ富士』を運営した。また、サイトの周知を目的として会議等の場における投げかけや市内で開催されるイベントにおいてブースを設け、イベントの参加者に向けた啓発活動に取り組んだ。

① はっぴいずむ富士の啓発に関する取組

・日時：5月25日（日）

会場：広見福祉フェスティバル

内容：ポータルサイト啓発、各種団体体験ブース等

②はっぴいずむ富士ポータルサイトの運営について

各記事数 ※累積

ニ ュ ー ス	139件
ギ ャ ラ リ ー	28件
商 品 紹 介	13件
支 援 事 業 者	51件
総 ペ ー ジ 閲 覧 数	19,917件
サ イ ト を 訪 れ た 人 数	7,821人

【地域福祉推進事業】

(1) 地区福祉推進会

①地区福祉推進会の活動支援

「だれもが住みなれた地域で、いつまでも安心して暮らすことのできる福祉のまちづくり」を目指し、市内26地区に地区担当職員（コミュニティソーシャルワーカー）を配置し、その地区に必要な資源開発・育成を行い、支え合い・助け合いのまちづくりを地域住民の皆さんと共に実施した。また、各地区の実情に合わせ地区内の関係団体等と連携・協働し事業活動を実施した。

②地区福祉推進会連絡会の活動支援

各地区福祉推進会の事業活性化のため、各地区で実施されている活動について情報収集と各地区への発信を行った。また、第6次地域福祉活動計画の策定に向けた動きの情報共有や意見交換を行うなど、各地区における活動支援とつながりづくりを推進した。

<正副会長会議>

5月30日（金） 地区福祉推進会連絡会の開催について
第6次地域福祉活動計画について

8月18日（月） 視察の受け入れについて
今年度の地区福祉推進会の取組について

11月13日（木） 愛知県安城市地区社協連絡会視察研修受け入れ

<全体事業>

6月30日（月） 富士市地区福祉推進会連絡会
事業報告及び事業計画
第6次地域福祉活動計画策定について
グループワーク『人生100年時代への備え』

③見守り・生活支援活動の実施（小地域福祉ネットワーク事業）

各地区及び各地域の中で、要援護者に対し見守り活動を展開し安否を確認した。

- ＜富士南地区＞ 小中学生を見守るあいさつ運動を実施
- ＜吉永地区＞ 近隣の方（ひとこえ会）が日常的な安否確認を実施
- ＜富士駅南地区＞ 住民福祉ネットワークで高齢者宅を誕生日等に訪問
「地域支え合いマップ」の作成
- ＜富士駅北地区＞ 近隣の方（見守り協力者）が日常的な安否確認を実施
- ＜大淵地区＞ 回覧版を手渡しで行い、安否確認を実施
生活上の困りごと対応
- ＜原田地区＞ 地区民生委員と推進会委員で見守りが必要な世帯を訪問
その後は、推進会会員による見守りを実施

（2）ふれあい・いきいきサロンの推進（赤い羽根募金事業助成対象）

ふれあい・いきいきサロンは、日常生活の基盤である地域社会における高齢者や障がい者等の孤独感の解消並びに介護予防を目的とした取組。地域住民が自主的・自発的に取り組めるよう、地域におけるふれあいと見守りの場である「居場所」の実現に向けて支援した。

- ・対 象 地域との交流を求める高齢者・障がい者等
- ・利用料 無料
- ・開設数 159カ所 （3月31日現在、休止中を除く）

（3）こども食堂への補助

こどもたちが放課後等に食事や学習、地域交流を通じて安心して過ごせる居場所であるこども食堂への支援を実施した。7件の助成金の申請があり助成を実施。こども食堂への関わりを通じてこどもを孤立させない地域づくりを支援した。

- ・助成件数 5団体
- ・助成額 235,000円

（4）未就園児等安否確認支援事業

こども家庭課が行う未就園児等の家庭（富士市に在住する未就園児等のいる世帯で、こども家庭課が訪問する必要があると判断した世帯）訪問の際に、障害者就労支援事業所の製品を提供することで、児童の安否確認及び生活課題の早期発見が円滑に行えるよう支援することを目的に実施。

- ・5月～12月 ラスク160個、クッキー160個を提供

(5) さわやかコール事業 ※令和7年6月事業終了

ひとり暮らし高齢者の安否確認を目的に、民生委員児童委員を通じて申し込みを行い、配達員がひと声かけながら乳酸菌飲料（ヤクルト）を宅配するサービスを実施。声かけ時に応答がないなど安否が確認できなかった際には、担当の民生委員児童委員や緊急連絡先等に確認をしたほか、必要に応じて職員が訪問し安否確認を行った。

- ・委託先 中央静岡ヤクルト販売㈱
- ・訪問日 最大で週3回
- ・月平均 394人

(6) 地域活動団体への助成

- ・地域福祉活動費（町内会）助成 2,623,300円
- ・民生委員児童委員活動実費弁償費助成 439,000円
- ・民生委員児童委員協議会活動費助成 300,000円
- ・人権擁護委員会助成 70,000円

(7) コミュニティソーシャルワークの実践

日常のあらゆる困りごとや相談に応じ、個別支援と地域支援を統合的に展開するコミュニティソーシャルワークの具体的な実践のため、地域の窓口となる地区担当者を配置し、併せて地区担当者を支援し共に活動に取り組む圏域担当を配置。圏域担当は地区担当者と情報共有を図りながら相談対応や支援に取り組んだ。また支援にあたっては、市内の各機関や専門職と連携し、チームアプローチでの支援を実践した。

- ・相談対応件数 89件（内新規受付32件）
新規相談内容の内訳（複数回答）

相談内容	件数	相談内容	件数
孤立	14	子ども	4
高齢者（見守り）	10	地域づくり	3
ボランティア	7	高齢者（介護）	3
地域トラブル	6	高齢者（認知）	2
障がい	6	外国籍	2
困窮	5	判断能力	1
メンタル	4	その他	1

(8) 生活困窮世帯学習支援応援事業

生活支援課が実施する「富士市こどもの学習・生活支援事業」で行う企画イベントを通じて参加者に食品や物品を支給することにより、こどもの学習意欲の向上を図ることを目的に実施。

- ・夏期講習 8月21日(木) 30人参加
ロングストラップ、富士山せっけん(竹の子)を提供
- ・冬期講習 12月25日(木) 35人参加
リンツァートルテ、フロランタン、コロマロ(まつぼっくり)、
バスボム富士山(ふじひろみ)を提供
- ・面接練習、模擬試験 1月15日(木) 25人参加
金のわらじストラップ(竹の子)、だるまマグネット(鷹身工芸社)を提供

(9) 第6次地域福祉活動計画の策定着手

令和9年度から13年度までの第6次地域福祉活動計画策定に向け、第5次地域福祉活動計画の検証作業に係る情報整理や行政との調整を実施。

また、地区版の地域福祉活動計画について、第3次富士市まちづくり行動計画と一体的に策定するため、各地区福祉推進会とともに、本会職員が各地区のまちづくり行動計画ワークショップに参画した。

【生活支援体制整備事業】

(1) 第1層生活支援コーディネーター業務の推進(市受託事業)

生活支援・介護予防の基盤整備を推進していくことを目的に、富士市より※第1層コーディネーター業務を受託し、市全域で支え合い・助け合い活動が広がるよう基盤整備と関係機関ネットワークの構築などを行った。また、介護保険事業に従事する専門職への理解を促す場として生活支援体制整備事業専門職研修会を開催した。

・第1層協議体会議

- 3月13日(金) 富士市移動スーパー事業情報共有会議
- 生活支援コーディネーターについて
 - 各事業者の取組紹介

・生活支援コーディネーター連絡会

5月16日（金） 第2層生活支援コーディネーターの活動について
まちづくり協議会について
資源マップについて

12月24日（水） 移動スーパー情報共有会議について
資源マップについて

・専門職研修会

3月13日（金） 市内の介護保険事業に従事する専門職を対象に開催
講師：（一社）コミュニティーネットハピネス

代表理事 土屋幸己 氏

※第1層生活支援コーディネーターとは、富士市域全域の福祉活動団体を組織化し、支援を必要としている人への働きかけや、助け合い組織立ち上げ支援、行政への働きかけ、施策提言をする者

（2）地域包括ケア体制の構築に向けた地域支援

生活支援・介護予防に関する地域支援や地域住民主体の支え合い・助け合いがあふれるまちづくりのため、※第2層生活支援コーディネーターと協働し各地区担当職員も地域資源の育成・活動支援を行った。

・各地区地域ケア会議、個別ケア会議への参加

※第2層生活支援コーディネーターとは、小学校区を単位として、生活支援のニーズ把握や社会資源の把握、サービスの開発を地域住民と共に取り組む者

（3）支えあいのまちづくり活動補助金（生活支援活動スタートアップ助成金）の実施
（赤い羽根募金事業助成対象）

地域住民による生活支援活動を支援し、地域共生社会を実現させるための取組として、支えあいのまちづくり活動補助金により、地域住民による生活支援活動の立ち上げに対する支援を実施した。

【ボランティア活動育成事業】

(1) ボランティアセンター運営事業

ボランティアセンター利用状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年
開館日	28	26	29	29	31	30	29	26	27	26	25	29	335	334
利用者数	320	453	403	323	373	445	377	406	354	370	411	396	4,631	4,550
1日平均	11.4	17.4	13.9	11.1	12.0	14.8	13.0	15.6	13.1	14.2	16.4	13.7	13.8	13.6

① ボランティアのニーズ調整

- ・ボランティア相談・活動希望 延べ 309件
- ・個人登録者に対する情報発信 延べ 3,884人

② ボランティア保険

- ・加入者数 3,170人
- ・事故対応 7件

③ 富士市ボランティア連絡会

連絡会は、加入しているボランティアグループで組織し、情報交換をはじめ、ボランティアに関する意見交換を実施した。

- ・奇数月第1金曜日 定例会開催(定例会前に役員会開催)

④ ボランティア団体への助成

- ・ボランティア連絡会助成 300,000円
- ・災害ボランティア連絡会助成 200,000円

(2) 車いす車両貸出事業

車いす使用者に対して、車両を貸出し、社会参加の促進を図った。

- ・貸出件数 295件

(3) 企業の地域貢献・社会貢献活動への協力

富士市内外の事業所による地域貢献・社会貢献活動の推進に対して連携及び協力を図るため、活動に係る連絡や調整を行った。

- ・対象企業及び事業所 18社

(4) ふじおもちゃ図書館の運営

ハンディキャップのあるなしにかかわらず、おもちゃを通しての交流の場として開館した。

- ・開館日 火・木曜日 10:00～12:00
日曜日（障がい児のみ） 10:00～12:00
- ・協力団体 ふじおもちゃ図書館ボランティア 38人
- ・会場 ふじおもちゃ図書館（富士市フィランセ東館4階）

利用状況

単位：人

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年
利用者数	216	242	252	333	293	259	334	229	106	173	270	378	3,085	4,299

<貸館>ふじおもちゃ図書館閉館時に、障がい児（者）及び子育てグループ等の団体に託児や交流のスペースとして貸館を行っている。

(5) 富士市災害ボランティア連絡会（赤い羽根募金事業助成対象）

災害時におけるボランティア活動がスムーズに行えることを目的に、災害ボランティア連絡会を組織し、定例会での情報交換をはじめ研修や災害ボランティア講習会を実施した。

- ・加入団体 11団体

富士市災害救援バイク隊『ペガサス』

富士市アマチュア無線非常通信協力会

災害ボランティアコーディネーター富士

静岡県市町村職員年金者連盟富士市支部

富士RB

富士市まとい会

静岡県看護協会富士地区支部

富士市赤十字奉仕団

家具やしめ隊

災害ボランティアコーディネーター富士川

災害ボランティアセンター運営スタッフの会

- ・災害ボランティアセンター開設訓練（研修）

1月10日 午前の部 富士市被災者支援ネットワーク会議

午後の部 災害ボランティアセンター運営訓練

(6) 声の広報事業（市受託事業）

ボランティアグループの協力により、月1回発行される「広報ふじ」や社協だより「お元気ですか」のほか、「警察だより」「中央病院だより」「蒲原病院だより」「消防署だより」「市議会だより」等の暮らしの情報をCDに吹き込み作成し、視覚障がい者への郵送により情報提供した。

- ・利用者 19人
- ・協力団体 3団体（やまびこ5日号、すみれ、C3PO）

(7) ボランティア講座

「出会って・つながって・動き出す～初心者もベテランもいらっしゃーい～」

ボランティアをしている人たちからボランティア活動をしている人たちとこれからボランティア活動をはじめようと考えている人が、集まれる場となり、情報交換や意見交換ができる機会が少ないと声があがっている。本講座では、これからボランティア活動を考えている方や、しばらく活動から遠ざかっている方、現在ボランティアをされている方も含め、今後のボランティア活動に新たなつながりや広がりを持つことを目的に開催。

開催日 10月25日（土）

会場 フィランセ西館4階大ホール

- 内容
- ① 講座を通してボランティアをこれまで以上に身近に感じてもらう
 - ② 講座参加者同士が講座を通して楽しみながら繋がる
 - ③ 講座内の「遊び」を体験してもらい、早く誰かに試したいと思ってもらおう
 - ④ 参加者全員で、秘密のノートを作成してもらい、またボランティアセンターに足を運んでもらう

講師 遊びの工房もくもく屋 事務局長 田川雅規氏

参加者 43人

(8) 福祉教育の推進

①福祉人材育成事業

これからの福祉事業に携わる人材の確保及び定着を目指し、広く福祉に関する啓発を行うための福祉人材育成事業に取り組んだ。

<実行委員会>

- ・内容 本会と市内の各関係機関との連携及び協働による事業計画立案のための実行委員会を設置し、実施内容の検討を行った。

- ・開催日 6月4日(水)・3月17日(火)
- ・委員数 9人

<つながろうプロジェクト実行委員会>

- ・開催日 7月～3月 毎月第3火曜日
- ・会場 フィランセ東館3階ボランティアルーム
- ・内容 つながろうプロジェクト事業開催に向けての計画と実践
- ・アドバイザー 静岡県社会福祉人材センター 主幹 曾根 允 氏
- ・対象者 市内の福祉施設等に勤務する職員 13人

<つながろうプロジェクト事業>

(ア) だもんでふふふ フォトコンテスト

- ・内容 「だもんで、ふふふ」フォトコンテストと銘打ち、福祉の職場で見つけた“素敵な笑顔”の写真を公募した。(応募数 33事業所)
インターネット投票を通じて、市民や学生など広く福祉の仕事の魅力を発信した。投票の結果、ふふふ大賞、ふふふ賞、つなプロ賞を決定し、受賞事業所を表彰した。

(イ) ふじしみんなのふくしラボ

- ・開催日 3月7日(土)
- ・会場 富士市フィランセ西館大ホール
- ・内容 福祉の様々な体験を通じて、楽しみながら福祉にふれる、気づく、体験型イベントを実施
- ・対象 小学4年生～中学3年生
※小中学生のほか、保護者、高校生ボランティアも参加
参加人数：合計60名(小中学生、高校生ボランティア
保護者、スタッフ)
- ・内容 4種類の体験を行い、ありがとうポイントを獲得する
①赤ちゃんのお世話体験(保育士体験)
②高齢者のくらし体験(車椅子体験、味覚の体験)
③おたすけ探偵(視覚や聴覚障がいの方のサポート体験)
④パラスポーツボッチャ体験

(ウ) 「ふじしのふくしのぷろぐらむ」の発行

※地域福祉教育・ボランティア活動プログラム集の作成(600部)

- ・内容 学校、社会福祉施設、社会福祉協議会、地域等と連携した地域福祉教育、ボランティアプログラム集を製作した

② 夏休み福祉なんでも学習

福祉を学ぶ静岡県立大学短期大学部社会福祉学科の大学生とともに、災害時の食事情や備蓄食料について考えるワークショップや、湯煎調理で行う防災ランチの調理実食を行った。

- ・ 5人参加

③ 福祉教育（体験、福祉講話）の実施

福祉教育を積極的に推進するため、学校単位・クラス単位等必要に応じ体験学習や福祉に関する講話・相談等を行った。

- ・ 9校 市内小中学校および高等学校にて

④ 福祉体験機材の貸出

福祉の心を育むための体験用として疑似体験機材を貸し出した。

	車いす	アイマスク ・白杖	アイマスク	高齢者 疑似	点字盤	自助具 (スプーン ・箸等)	ホッチャ・ ユニホッチャ	サッカー ボール	触感体 験など その他
個数	90	83	34	172	64	23	85	0	231
回数	23	16	7	31	6	5	58	0	86

内訳	学 校	24
	地 区	35
	施 設	51
	その他	67

⑤ 福祉図書コーナーの運営

フィランセ東館3階市民交流フロアに福祉図書コーナーを置き、図書等の貸出を行った。

- ・ 図書等の貸出

福祉図書 8冊 ビデオ・DVD 14件

- ・ 貸出利用券新規発行者数 1人

【福祉相談事業】

(1) 結婚相談

結婚相談員による結婚に関する相談及び交際の仲立ち（引き合わせ）を行った。

- ・ 開所日 毎週水曜日、毎月第1・第3土曜日、第2・第4日曜日
- ・ 相談状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年
開催日数	8	7	5	8	6	7	7	6	6	6	5	6	77	93
相談件数	113	85	55	148	75	70	62	69	52	38	65	46	878	1,419

- ・新規登録者数 25人（前年45人）
- ・引き合わせ組数 36組（前年53組）
- ・引き合わせ成立組数 17組（前年29組）
- ・結婚成立件数 2組（前年1組）

（２）心配ごと相談

フィランセ東館1階事務局内にて相談員1人を配置。月曜日から金曜日まで、福祉・生活に関わる初期相談に応じ、直接来所できない方のためには電話相談（64-3294）を行った。さらに専門的な相談に対しては関係機関と連携を密にしながら対応した。

＜相談状況＞

相談件数 563件
 ＜内訳＞ 来所相談 8件 電話相談 555件

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年
相談件数	22	42	46	58	35	65	72	48	40	45	47	43	563	291

相談内容	件数	前年
福祉制度等の利用相談	0	1
自立生活についての相談	17	19
家庭生活についての相談	88	51
教育に関する相談	0	0
就労に関する相談	15	12
医療・健康に関する相談	86	54
虐待に関する相談	12	1
その他	511	153
合計	729	291

【援護事業】

（１）罹災世帯援護事業

火災に遭われた罹災世帯に対し見舞い金を支給した。

- ・全焼 5件 150,000円

（２）緊急一時援護事業

低所得世帯等で、緊急に援助を要する世帯に対し、世帯の自立更生に繋がるよう5万円を限度に援護を行った。

- ・生活援護 3件 110,000円

(3) 児童援護事業 (赤い羽根募金事業助成対象)

①小中学校入学支度費支給

低所得世帯の児童に対し、入学時に必要な支度費を支給する事業で、小学校入学時 8,000 円、中学校入学時 15,000 円を支給した。

小学校	45 人	360,000 円	合計	107 人
中学校	62 人	930,000 円		1,290,000 円

②小中学校修学旅行持参金支給

低所得世帯の児童に対し、小中学校長の申請により修学旅行の持参金を支給する事業で、小学生 8,000 円、中学生 10,000 円を支給した。

小学校	142 人	1,136,000 円	合計	277 人
中学校	135 人	1,350,000 円		2,486,000 円

③児童遊び場設置費助成

児童の健全育成を図るため遊び場の遊具の設置や改修などの助成を行った。

5 か所	495,000 円
------	-----------

④児童福祉団体等への助成

- ・子ども会世話人連絡協議会助成 300,000 円
- ・静岡県児童福祉施設冬季スポーツ交流会 30,000 円

(4) 障害者援護事業

①福祉機器等リサイクル事業(市受託事業)

高齢者などの在宅生活の支援、社会参加の促進、家庭介護の軽減を図ることを目的に、不用となった福祉機器やベビー用品を無償で提供していただける方と譲り受けた方とのリサイクル情報の橋渡しを行った。

- ・対象 不用になった福祉機器やベビー用品を譲りたい方
不用になった福祉機器やベビー用品を必要とする方
- ・費用 無料 (運搬・修理に関する費用は譲り受ける方が負担)
- ・物品 福祉機器・介護用品・ベビー用品
(直接身体に触れる物品は未使用のもの)
- ・実績 譲ります情報 29件 求めます情報 36件 成立 25件

②車いす短期貸出事業

病気やケガ及び旅行等、短期間(2週間)車いすを必要とする方へ貸出を行った。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年
貸出件数	25	17	13	14	15	15	21	21	19	20	18	30	228	320

③障がい者福祉団体への助成（赤い羽根募金事業助成対象）

・手をつなぐ育成会運営助成	300,000円
・身体障害者福祉会運営助成	200,000円
・視覚障害者福祉会運営助成	50,000円
・聴覚障害者協会運営助成	70,000円
・福祉団体スポーツレクリエーション大会助成	30,000円

(5) 高齢者援護事業（赤い羽根募金事業助成対象）

高齢者福祉団体への助成

・悠容クラブ連合会助成	200,000円
・認知症の人と家族の会助成	100,000円
・在宅介護者家族の会助成	50,000円

(6) ひとり親等援護事業

ひとり親世帯等生活困窮者自立支援給付事業

生活困窮者自立相談支援事業において、ひとり親世帯等に対して就労支援を行うのに伴い、就労支援の実効性を高めることや生活を維持することを目的に、就労活動に必要な資金及び子どもの養育に必要な資金等の給付を行った。

・給付	0件	0円
-----	----	----

(7) 交通遺児等援護事業

・交通遺児等入学祝金	50,000円
------------	---------

【共同募金運動】

(1) 赤い羽根共同募金運動

この運動は、毎年多くのボランティアの方々に支えられ、次のとおり募金をいただいた。これらの募金は、民間社会福祉事業の充実向上、健康で安心して暮らせる福祉のまちづくりのための事業に活用されている。

- ・実施期間 10月1日 ～ 12月31日
- ・協力団体 町内会（区長会）、民生委員児童委員協議会、他諸団体

区 分	目 標 額	実 績 額
町内募金	14,900,000円	14,378,370円
篤志・法人募金	4,300,000円	4,185,088円
街頭募金他	1,610,000円	2,073,663円
合 計	20,810,000円	20,637,121円

(前年同期 20,812,464円)

(2) 歳末たすけあい運動

赤い羽根共同募金運動の一環として「つながり ささえあう みんなの地域づくり」をスローガンに、主に低所得世帯等が安心して新年を迎えることができるよう支援金の配分を行った。

<配分結果>

・低所得世帯（生活保護世帯は除く）

463世帯 1,249人 7,299,000円

ねたきり 13人 認知症 4人

重症心身障がい児(者) 33人 両親のいない児童 7人

・福祉施設利用者

施設6カ所・里親10世帯 計 63人 452,000円

合計 7,751,000円

<募金結果>

・会社職域関係 508,559円

・団体関係 223,203円

・学校関係 0円

・個人 7,987円

・たすけあい袋 7,993,681円

合計 8,733,430円

【ユニバーサル就労支援センター相談支援グループ運営事業】（市受託事業）

生活課題を抱えた市民からの相談に早期かつ包括的に応ずるユニバーサル就労支援センター相談支援グループを(株)東海道シグマと共同事業体を組織し運営を行った。8人の相談員を配置し相談者の抱えている課題を適切に評価・分析し、その結果を踏まえた「自立支援計画」を相談者本人と共に作成して、相談者の生活の立て直しに向けた支援をした。また生活福祉資金貸付担当者と連携しながら相談を受け、必要な場合は適切に関係機関へつなぐとともに、事業の周知に関してはチラシを配布し市民への情報提供を実施。ひきこもり支援では本人が望めば積極的にアウトリーチを行い、情報提供や家族支援に努めた。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
新規相談件数	104	116	96	108	95	84	86	81	79	97	77	93	1,116
プラン作成件数	19	22	10	19	21	21	19	7	13	14	8	16	189
就労支援対象者数	13	12	5	8	7	10	11	2	6	6	0	7	87

【貸付事業】

(1) 高額療養費等資金貸付事業（市受託事業）

国保加入者で医療費の支払に困っている方に、高額療養費等資金の貸付を行った。

・貸付	175件	13,470,253円
＜内 訳＞		
1. 高額療養費	85件	12,018,343円
2. 重度医療費	65件	1,283,120円
3. ひとり親家庭等医療費	25件	168,790円

(2) 生活福祉資金貸付事業（県社協受託事業）

低所得世帯等の生活意欲を助長し、その自立更生を図ることを目的に県社協の審査を経て生活福祉資金等の貸付を行った。

・教育支援資金	13件	6,300,000円
・福祉資金（福祉費）	1件	64,000円
・福祉資金（緊急小口資金）	8件	800,000円
・福祉資金（技能習得費）	1件	104,000円
合 計	23件	7,268,000円

令和2年3月～令和4年9月に行った特例貸付（コロナ貸付）の借受人に償還指導を実施し、県社協に報告・手続きを行った。

・指導方法 架電・メール415件 訪問活動200件 郵送手続き24件

相 談 内 容	件 数
免除手続きについて	71件
猶予手続きについて	46件
償還方法変更について	89件
県社協へつなぎ	55件
ユニバーサル就労支援センターへつなぎ	35件
他機関・他制度へつなぎ	15件
生活福祉資金（本則）について	88件
見守り支援 他	56件
合 計	455件

(3) 小口資金貸付事業

低所得世帯を対象に、一時的に必要な生活資金として5万円を限度に無利子にて貸し付け、世帯の自立支援を行った。

・貸付 16件 457,000円

行政と連携し、新たに決定した生活保護世帯に対し生活保護費初回支給日までの生活費等の資金として5万円を限度に無利子にて貸し付け、切れ目のない支援を行った。

・貸付 46件 1,443,000円

【日常生活自立支援事業】（県社協受託事業）

住み慣れた地域で安心して暮らせるように、福祉サービス利用の援助や日常生活に必要なお金の出し入れ、福祉サービスの利用料・公共料金などの支払いを支援した。専門員5人 生活支援員17人で対応。

- ・利用対象 認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者等で、自身の判断能力に不安のある方
- ・援助内容 福祉サービスに関する情報提供、利用手続きの代行
日常的な金銭管理の支援、重要書類等の預かり

区 分	認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	合計
現利用者数	12	29	22	8	71
今年度契約者数	0	1	1	0	2
相談援助件数	195	475	368	165	1,203

【成年後見支援センター事業】

(1) 成年後見推進事業（市受託事業）

認知症、知的障がい、精神障がいなどにより判断能力が十分でない人が成年後見制度を的確に利用できるよう財産管理・契約等の支援を行い、その人の権利を尊重し擁護することにより地域で安心して暮らせるよう、成年後見制度の利用促進を図ることを目的として相談援助を行った。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年
相談件数	36	22	14	24	25	29	26	23	24	21	20	28	292	273

<成年後見制度講演会・個別相談会>

- ・開催日 10月4日(土)
- ・会場 市役所消防庁舎7階
- ・内容 「元気なうちに始めよう!前向き終活のススメ」
講師 司法書士辻村事務所 司法書士 辻村基樹 氏
参加者 54人

(2) 市民後見推進事業(市受託事業)

<市民後見人の研鑽>

市民後見人候補者が日常生活自立支援事業生活支援員として活動を行いながら、身上保護及び財産管理の実際を通じて利用者支援に協力いただいた。

センターはその援助を行い候補者のサポートを行った。

<市民後見人名簿登録者継続研修>

市民後見人候補者へのフォローアップと資質の向上のための継続研修を開催。

- 7月11日 「ACP(アドバンス・ケア・プラン)について」 14人参加
- 1月15日 「精神障害のある方の症状や関わり方について」 15人参加
- 2月6日 「我が家の終活について考えてみませんか」 12人参加

<市民後見人>

3月末時点で10人の市民後見人が活動している。

<監督人>

合計10人の監督人により市民後見活動の支援を行っている。

(3) 中核機関事業(市受託事業)

<受任調整会議の開催>

成年後見制度利用の申立をする方で、親族以外の専門職後見人等を希望される方を対象に受任調整会議を開催し、その方にふさわしい後見人が選任されるよう弁護士・司法書士・社会福祉士による推薦会議を実施した。その検討結果を静岡家庭裁判所富士支部に推薦した。

10回開催 専門職19人を推薦した。

内訳	弁護士	2件、司法書士	2件
	社会福祉士	5件、法人	5件、
	市民後見人	1件	

<権利擁護支援会議の開催>

成年後見制度の申立に関係なく、生活課題のある個人・世帯が抱える複雑化した多問題に対し、法律・福祉専門職による相談や解決策を関係者とともに協議した。

5回開催

【法人後見事業】

<法人後見受任>

地域共生社会を推進する法人として、組織の永続性と福祉的視点を活かし、法人後見受任を行っており、専門職後見人の個人受任では困難性のある課題に対し、専門職後見人と連携して利用者の意思決定支援に軸を置いた支援を行っている。

3月末時点で15件を受任している。

【介護サービス事業】

(1) 介護保険関連事業

①居宅介護支援事業

・利用者延べ人数 2,984人

(事業対象者…201人 要支援…915人 要介護…1,868人)

- ・利用者内訳 事業対象者…201人(6.7%) 要支援1…338人(11.3%)
要支援2…577人(19.3%) 要介護1…639人(21.4%)
要介護2…596人(20.0%) 要介護3…225人(7.6%)
要介護4…287人(9.6%) 要介護5…121人(4.1%)
- ・介護認定調査 48件(富士市…24件、県内他市町…7件、県外…17件)

②訪問介護事業 ※令和8年3月事業終了

・利用者訪問延べ回数 2,815回

(事業対象者…40回 要支援…393回 要介護…2,382回)

- ・利用者内訳 事業対象者…40回(1.4%) 要支援1…25回(0.9%)
要支援2…368回(13.1%) 要介護1…695回(24.7%)
要介護2…1,354回(48.1%) 要介護3…0回(0%)
要介護4…288回(10.2%) 要介護5…45回(1.6%)

③通所介護事業(富士川デイサービスセンター)

・開所日数 309日

・利用延べ人数 6,828人

(事業対象者…7人 要支援…296人 要介護…6,525人)

- ・利用者内訳 事業対象者…7人(0.1%) 要支援1…100人(1.5%)
要支援2…196人(2.9%) 要介護1…2,026人(29.7%)
要介護2…2,926人(42.8%) 要介護3…735人(10.8%)
要介護4…512人(7.5%) 要介護5…326人(4.7%)

(2) 障害福祉サービス事業

①居宅介護 ※令和8年3月事業終了

・利用者数 24人

・延派遣回数 2,601回 ・延派遣時間数 2,498時間25分

② 同行援護 ※令和8年3月事業終了

・利用者数	7人		
・延派遣回数	209回	・延派遣時間数	325時間25分

③ 移動支援 ※令和8年3月事業終了（市受託事業）

・利用者数	6人		
・延派遣回数	314回	・延派遣時間数	426時間00分

(3) 介護入門研修事業（市受託事業）

介護に関心を持つ介護未経験者に対し、介護の基本的知識や技術の習得を通じ、家庭や地域で介護の担い手として活躍できる人材の育成を行った。

参加者 7人 修了者 7人

(4) 高齢者地域支援窓口事業 ※富士駅北地区（市受託事業）

高齢者の身近な相談窓口として、富士駅北地区の高齢者地域支援窓口を受託。来所者向けの相談窓口の設置、移動相談、家庭訪問を実施した。

・見守り件数	14件	終了者	4件（介護保険へ移行2件）
・相談件数	211件		
・移動相談	27回	来所者	141人

【障害サービス事業】

(1) 障害者就労支援事業所等の運営

就労継続支援B型事業所9か所、生活介護事業所1か所を運営。利用者に対し、生産活動や創作的活動の機会を提供し、併せて社会生活の向上につながる支援を行った。

当該年度重要活動として、老朽化が著しかった鷹身工芸社の新築工事が5月23日に完成し、6月からの移転後も事業は順調に推移している。また、今後の事業運営の厳しさを踏まえ、そのあり方について検討・議論を行い、事業所再編方針を策定した。現在、各方面に対する説明を重ね、理解を得つつ推進している。

本年度は利用者の出席数の減少に伴い、報酬費（自立支援給付費）の総額は、前年度実績を664万円ほど下回った。

- ・新規利用者＝計2人（内訳：富士特別支援学校高等部から＝2人）
- ・退所者＝計4人（内訳：施設入所による＝1人、退所による＝2人、死去による＝1人）

<就労継続支援B型事業所（9事業所）>

- ・在籍者数 145人 男性 83人 女性 62人
- ・平均年齢 約44歳 最年長 77歳 最年少 19歳

事業所名	開設年月日	在籍者数	月平均工賃	主な自主製品等
吉原つくし	S55.4.7	18人	10,312円	手染め製品（手ぬぐい等）
竹の子	S63.4.1	20人	11,039円	ビーズ製品 手作り石鹸
ひめな	H8.10.1	14人	18,137円	縫製品 苔玉
ふれあいショップ あゆみ	H1.10.1	9人	20,738円	手作りパン ラスク各種
ふじひろみ	S53.6.1	11人	13,715円	コサージュ ぼかし・ぷくぷく
市民ふれあい バンク	S58.8.1	17人	21,065円	手作り石けん リサイクル品回収販売
鷹身工芸社	S59.8.1	18人	15,409円	花の寄せ植え 革製品・リメ缶
ふじばら作業所	H1.4.1	21人	11,797円	ふじさんキャンドル ぼかし
まつぼっくり	H13.4.1	14人	21,696円	手作り菓子各種 （クッキー等）

利用者に支払う授産工賃に関しては、9か所の就労継続支援B型事業所のうち、前年度の月平均工賃を上回った事業所は6か所、下回った事業所は3か所だった。

<生活介護事業所（1事業所）>

- ・在籍者数 22人 男性 14人 女性 8人
- ・平均年齢 約31歳 最年長 62歳 最年少 19歳

事業所名	開設年月日	在籍者数	主な自主製品等
オリーブの丘	R2.4.1	22人	てすきしおり ぼち袋

(2) 職員研修

職員の資質向上を目的として、障害サービス室全体で、積極的に研修に取り組んだ。特に県知協主催の各種研修会には、各事業所から積極的に職員を参加させた。「虐待予防」に関しては、法人として虐待防止委員会を設置、介護サービス室職員

も含め、定期的なチェック・ふりかえりを行った。また、県の「障害者虐待防止研修会」に出席した職員による報告会を開催し、必要な情報を全職員で共有するなど、虐待予防とともに不適切な支援の根絶に努めた。

<全体研修>

- ① 安全運転技能研修（7月） 協力：中央自動車学校
- ② 富士特別支援学校高等部見学（10月） 協力：富士特別支援学校
- ③ 新規採用職員意見交換会（9月・2月）
- ④ 感染予防講習（11月）
- ⑤ 虐待防止・権利擁護全体研修（3月）

（3）特定相談支援事業

障害者就労支援事業所等の利用者やその家族が、障害福祉サービスを適切に利用するため、サービス等利用計画の作成をはじめとした相談支援事業を実施した。

契約件数	232件
内訳	
社協就労継続B型事業所・生活介護事業所利用者	153人
その他（社協以外の事業所利用者・居宅介護事業所利用者等）	79人

【社会福祉センターの運営】（指定管理者）

富士市からの指定管理者として社会福祉センター（田子浦荘、東部市民プラザ、鷹岡市民プラザ）の管理を行い、高齢者をはじめ市民の健康増進や憩いの場として提供した。

利用状況

項目	田子浦荘	東部市民プラザ	鷹岡市民プラザ	合計	前年 ※R6 3館分
高齢者	35,757人	29,954人	25,023人	90,734人	73,433人
障がい者	219人	47人	61人	327人	320人
児童	210人	3人	0人	213人	324人
その他	1,918人	4,870人	9,509人	16,297人	12,866人
合計	38,104人	34,874人	34,593人	107,571人	86,943人
開館日数	279日	281日	281日		
1日平均利用者数	137人	124人	123人	384人	311人

【生きがいデイ・健康づくりデイサービス事業】

(1) 生きがいデイサービス（市受託事業）

在宅で閉じこもりがちな高齢者を対象に、自立生活の支援及び社会参加の促進を図ることを目的に生活指導・介護予防体操・レクリエーション等のサービスの提供を行った。

・実施場所	健康クラブ（美原町公会堂 毎週月・金）
	あったかクラブ（鷹岡市民プラザ 毎週火・木）
	うららかクラブ（富士川地域福祉センター 毎週火～金）
・開所日数	健康クラブ 97日
	あったかクラブ 103日
	うららかクラブ 205日
・延利用者数	健康クラブ 880人
	あったかクラブ 1,378人
	うららかクラブ 1,483人

(2) 健康づくりデイサービス（市受託事業）

要支援状態等にある高齢者を対象として、自立生活の支援及び社会参加の促進を図ることを目的に、介護予防サービス計画または介護予防ケアマネジメントの内容に沿って、生活指導・介護予防体操・レクリエーション等のサービスの提供を行った。

・実施場所	健康クラブ（美原町公会堂 毎週月・金）
	あったかクラブ（鷹岡市民プラザ 毎週火・木）
	うららかクラブ（富士川地域福祉センター 毎週火～金）
・開所日数	健康クラブ 97日
	あったかクラブ 103日
	うららかクラブ 205日
・延利用者数	健康クラブ 216人
	あったかクラブ 107人
	うららかクラブ 982人

【その他の事業】

(1) 実習受入

社会福祉向上と福祉教育の一環として、学生等を対象に福祉実習の受入を行った。

- ・ ソーシャルワーク実習受入数 3人

(2) 富士市介護保険事業者連絡協議会の支援

介護保険事業者が相互の連携と、サービスの総合的な質の向上を行うことを目的に各種研修会を実施し、その事務局の役割を担っている。

(3) 社協職員育成体制の整備と職員育成の推進

6つの職員行動指針をバランスよく実践できる人材の育成を目的として、社協職員育成計画運営委員会を設置するとともに、職員育成のための諸施策を実施した。

- ・ 職員育成計画運営委員会 2回開催
- ・ OJTリーダーフォローアップ研修 3回開催
- ・ 資格取得にかかる受験手数料・登録料助成制度 1名（精神保健福祉士）

そのほか、障害サービス室においては、所長を対象に、職員行動指針を現場職員にとってより理解しやすい形へと具体化・整理するためのワークショップを計3回開催した。

(4) 被災地への職員派遣

被災地支援活動として、以下の通り職員派遣を行った。

①令和7年台風15号による風水害

○災害VC運営支援アドバイザー(県社協委嘱)として

- ・ 牧之原市社会福祉協議会 9月8日～24日(計6日) 1人

○静岡県社協から県内市町社協を対象にした要請

- ・ 吉田町災害ボランティアセンター 9月12日～23日(計6日) 2人

(5) BCP(事業継続計画)の検証

防災の日に合わせて職員の安否確認訓練を実施し、BCPにおける初動の対応を検証するとともに、各職員が安否確認システムを扱うことにより、意識の向上を図った。

【社協会費・寄附金の募集】

(1) 社協会費

6月を社協会員募集月間に定め、各世帯より普通会費、篤志家・企業より特別会費、福祉団体及び福祉施設・福祉事業所より団体施設会費のご協力をいただいた。

- ・協力団体（敬称略） 町内会（区長会）、民生委員児童委員協議会、他諸団体
- ・実施状況

区 分	金 額	実績額
普通会費	各世帯 300円	24,365,360円
特別会費	個人・企業・法人 1,000円以上	4,715,700円
団体施設会費	福祉施設・団体 1,000円以上	388,000円
合 計		29,469,060円

(前年同期 29,834,730円)

(2) 寄附金

社会福祉協議会への寄附者は、下記のとおりです。

(敬称略・単位 円)

① 一般寄附

月	氏名	金額	月	氏名	金額
4	匿名	8,460	8	立光寺	41,320
	女性ネットワーク・富士	126,803		株式会社ユーライフ 代表取締役 石川雅博	10,000
	株式会社ユーライフ 代表取締役 石川雅博	10,000	9	ADEKA労働組合	30,000
5	「富士の型染」グループ	41,000		株式会社ユーライフ 代表取締役 石川雅博	10,000
	富士山吉原ロータリークラブ	200,000	10	匿名	1,022
	立光寺	15,292		富士川文化協会	130,067
	株式会社ユーライフ 代表取締役 石川雅博	10,000		ベルメディカルケア株式会社	35,000
6	立光寺	22,755		静岡県東部イベント商業協同 組合	30,000
	村嶋政彦	1,000	一般社団法人福祉イベント会	20,000	
	アメリカンフラワー東信支部 静岡ブロック	37,115	森島アクティブ	74,660	
	静岡県東部イベント商業協同 組合	30,000	フォークダンスおのわ・レク ダンスMt富士	89,000	
	一般社団法人福祉イベント会	20,000	立光寺	26,000	
	宗清倶楽部杯チャリティー ゴルフ	17,600	株式会社ユーライフ 代表取締役 石川雅博	10,000	
	株式会社ユーライフ 代表取締役 石川雅博	10,000	11	匿名	20,000
	匿名	100,000		稲葉芳典	1,000,000
	稲葉大輝	20,000		富士マンドリンクラブ	54,000
	7	本市場子供会		5,000	興亜工業株式会社
一般社団法人福祉イベント会		20,000	偕楽窯会	10,000	
静岡県東部イベント商業協同 組合		210,000	富士伊豆農業協同組合 富士葬祭センター	215,000	
株式会社ユーライフ 代表取締役 石川雅博		10,000	株式会社ユーライフ 代表取締役 石川雅博	10,000	
8	杉山勝	100,000	12	富士市建設業組合	100,000

月	氏名	金額	月	氏名	金額
12	NPO法人 楽しいことやら座	30,000	2	中央静岡ヤクルト販売株式会社	60,867
	匿名	30,000		田子浦親交会	49,643
	匿名	8,000		立光寺	15,000
	宗清倶楽部杯チャリティーゴルフ	12,200		静岡県東部イベント商業協同組合	30,000
	諏訪部弘	22,000		一般社団法人福祉イベント会	20,000
	匿名	20,000	株式会社ユーライフ 代表取締役 石川雅博	10,000	
	吉田香代子	100,000	3	富士市立岩松北小学校 2年部	8,000
	株式会社中央保険代理事務所	300,000		松村輝雄	10,000
株式会社ユーライフ 代表取締役 石川雅博	10,000	富士市立岩松北小学校 6年1組		3,000	
1	ADEKA労働組合	30,000		株式会社ユーライフ 代表取締役 石川雅博	10,000
	匿名	5,512	匿名	300,000	
	株式会社ユーライフ 代表取締役 石川雅博	10,000			
	匿名	2,120			
2	一般社団法人岳南法人会	300,000			

67 件
4,427,436 円

②社協各事業への指定寄附

月	氏名	金額	月	氏名	金額		
9	株式会社アトマックス	150,700	2	匿名	10,000		
	鷹岡地区区長会	39,680		匿名	3,000		
10	富士吉原ライオンズクラブ	150,000	3	静岡県遊技業協同組合 理事長 富田直樹	21,242		
	KIDSチャレンジフェス 実行委員会	360,000		公益財団法人静岡新聞・静岡放送 文化福祉事業団「愛の都市訪問」	92,180		
	吉原地区民生委員児童委員 協議会	22,680		大丸松坂屋百貨店労働組合 静岡支部	14,147		
11	元吉原地区町内会連合会	35,000		富士市福祉事業協力会	217,800		
	興亜工業株式会社	100,000		ジャトコ株式会社素形材工場 工場長 三島学	91,368		
12	まる二 殿岡正美	8,400		匿名	3,000		
	匿名	3,000					
1	イオン社会福祉基金	236,600	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>19 件</td> </tr> <tr> <td>1,561,797 円</td> </tr> </table>			19 件	1,561,797 円
	19 件						
1,561,797 円							
匿名	3,000						

③交通遺児援護基金指定寄附

月	氏名	金額
7	富士地区貨物運送事業協同 組合 理事長 望月秀男	300,000
	一般社団法人静岡県トラック 協会 富士支部富士運輸会	120,000
10	匿名	10,000

3 件
430,000 円

合計

89 件
6,419,233 円